

平成 25 年度第 2 回遺跡見学会資料
平成 25 年 6 月 29 日 (土) 開催

加須市 宮東遺跡と 大越の河岸を訪ねて

Aコース→①②③④⑤⑥⑦

Bコース→①⑥⑦②③④⑤



⑤宝幢寺 真言宗豊山派。承久年間(1219～22)に円喜上人が建立したと伝える。元治2年(1865)に火災にあい、古い記録を焼失。その後、隆善上人が再興した。本尊阿彌陀如来。



②徳性寺(↑) 真言宗豊山派。医王山薬師院。寺伝に小山朝政の祈願所。小山義政再興。小山氏系図あり。江戸時代に山門や堂宇が完成。明治6年に大越学校が開校。本尊は、妻恋薬師。

①小山朝政の墓(←) 小山朝政は、源頼朝の挙兵に参画、その後治承・寿永の乱にも武功を挙げ、鎌倉幕府の要職を務める。墓は、貞和元年(1345)の銘のある宝篋印塔。



⑧伊奈利神社古墳 古墳時代後期の円墳。径25m、高さ2m。埴輪がめぐる。



④館野の館跡 『成田氏分限帳』に登場する大越彦八郎または、小山氏にかかわる館跡といわれる。



③八幡神社古墳 古墳時代後期の円墳。径10m、高さ1.5m。埴輪はない。



⑥鷺神社 利根川の古い流路沿いに鷺宮神社、鷺神社がたくさん分布。舟運の安全や五穀豊穣が祈願された。

宮東遺跡では、利根川の堤防強化工事に先立って平成24年4月から発掘調査を行っています。これまでの発掘調査によって古墳時代、奈良・平安時代、そして鎌倉時代から江戸時代にかけて、利根川とともに生きた人々の暮らしが、次第に明らかになってきました。

今回の見学会では、宮東遺跡のある大越の河岸が、利根川の舟運で栄えたところに焦点を当て、近隣の神社や河岸の街並みを訪ね、高瀬舟が行きかう河岸場のにぎわいに思いを馳せていただけたら幸いです。

主催：公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団
共催：埼玉県教育委員会・加須市教育委員会
国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所

⑦ 宮東遺跡

宮東遺跡では、たくさんの井戸跡や溝跡などが検出され、長年にわたり河川とともに歩んだ人々のくらしが明らかになりました。

これまでに板石塔婆や石臼などの石製品、黒漆塗碗や下駄、桶の底板などの木製品、青磁や白磁、天目茶碗、志野焼の小皿、常滑焼の壺や甕、すり鉢などの焼き物、煙管や中国からの渡来銭などの金属製品等が出土しました。

また、昔のトイレットペーパー（ちゆう木）と思われる木片も出土しました。

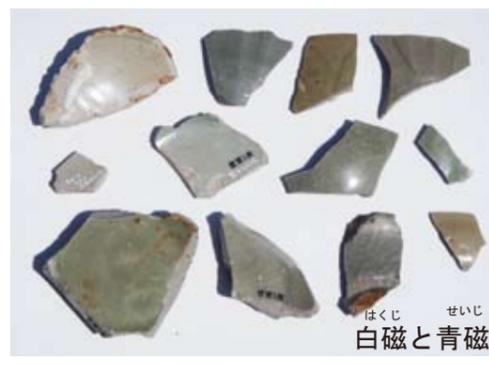
さらに、古墳時代から平安時代の集落跡も明らかになりました。竪穴住居跡から出土した須恵器の甕や土師器の多孔式甑は、とても珍しい土器です。



いたいし とうば
板石塔婆



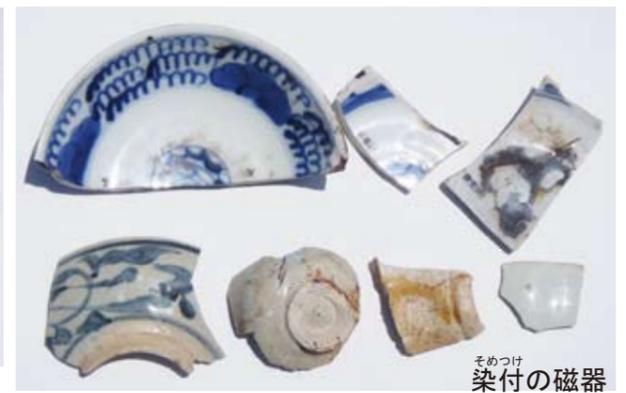
いたいし とうば
板石塔婆



はくじ せいじ
白磁と青磁



てんもくちやわん
天目茶碗



そめつけ
染付の磁器



しの やき
志野焼小皿



かわらけ



ちゆう木

古墳時代の土器



すえき はそう
須恵器の甕
(液体を注ぐ器)



はじき たこうしきこしき
土師器の多孔式甑
(古代の蒸し器)

